

平成 21 年度第 2 回委員会議事録

平成 21 年 1 月 6 日（金） 16 時 00 分～17 時 30 分

201 会議室

事務局	<p>(資料 1、2 について説明)</p> <p>資料 1……行財政改革プランの見直しについて</p> <p>資料 2……七尾市の行財政改革(素案)</p>
委員	<p>作成にあたっては担当課と協議したのか。</p>
事務局	<p>プランの項目は、各課が提出したものを掲載した。また職員提案の内容も検討し、プランとして取組み可能なものは掲載した。</p>
委員	<p>中学校の統合の問題は地区の審議会等でもめている。プランに掲載して良いものなのか。</p>
事務局	<p>公共施設の適正配置という項目の一つとして、行革プランの素案として掲載したが、最終的に掲載するかどうかは、委員会で議論していただければいいと考えている。</p>
委員	<p>財政改革の目標額を掲載した場合、しない場合のメリットとデメリットは何か。</p>
事務局	<p>目標額を掲載する必要がないほど財政の立て直しは達成できている。これまでは「いくら削減した」ということに終始してしまった。今回のプランでも掲載すると、サービス向上と職員の意識改革の足かせになると考えており、目標額を載せることはデメリットの方が多くなると思う。載せなくても法制化により財政状況の数字が明らかになり、悪ければ健全化計画の策定が義務化されたため必要はないと考える。</p>
委員	<p>財政改革の削減額 8 億 2,000 千円の内訳は</p>

事務局	人件費がほとんどだが、指定管理者制度や公用車の削減などがある。
委員	公営住宅の長寿命化計画とは何か。
事務局	施設の修繕を早めに行った方が、トータルでコスト削減が図られる場合もあり、そのことをまとめたもの。
委員	そういうことは公営住宅だけではなく、道路や橋なども考えられるのではないか。
事務局	次回17日の委員会で回答する。
委員	他の自治体で行われている事業仕分けのようなものは、プランになくてもいいのか。
事務局	行政評価制度というものがそれに当たるものと考えている。
委員	行政評価制度というと一般市民はわかりにくい。もう少しソフトなものにならないのか。
事務局	事業仕分けというと「削減ありき」というイメージがあり、実施には疑問を感じている。詳しくは次回説明する。
委員	資料2の24ページの「事務事業の見直し」と「まちづくり計画の実施計画策定」を一緒の項目にするのはおかしいのではないか。
事務局	「まちづくり計画の実施計画策定」については、総合計画の実施計画

	<p>というものを策定しているが、プランとして掲載できる具体的項目はまだない。</p>
委員	<p>やはり、中学校再編整備計画は載せない方がいいのではないかな。</p>
委員	<p>大事なこと、議論すべきものは載せておいた方がいいと思う。 もう一つは、職員を育て上げていく「根本」のようなものが今後は必要になってくると思う。</p>
委員	<p>1次プランは「財革」、2次プランは「行革」ということでいろいろと載せてあるが、何をしようとしているのかがわからない。行政の仕事は最終的には「まちづくり」ではないかと思うし、それとどうやって連動していくのかが課題だと思う。行革プランに掲載したために、必ずそれをやらなければならないということで、逆に職員の首が絞まってしまう心配もあるのではないかな。</p>
委員	<p>政権交代があったことでも変わってくるものもあるのではないかな。</p>
事務局	<p>前回のプランは目標額を掲げて削減をしてきたが、30億円の収支不足がなければ本来は予算編成の過程で行っていたはず。政権交代によるものは予算編成で対応していくものと考えている。そういうこともあり、今回のプランは目標額を掲載しない予定である。</p>
委員	<p>財政の健全化が達成したからといって、行財政改革プランというからには、数値目標を掲げないのはおかしいと思う。 「庁舎内案内看板の見直し」などは行政改革ではないと思うし、プランに掲載するのはどうかと思う。 それに、次回と2月でまとめてしまうのは少し乱暴な感じがする。</p>
委員	<p>確かに、行政の効率化ということはこれまで議論してこなかった。</p>

事務局	<p>基本的な国保事業や介護事業をしっかりと運営しながら、そういうことを本当にしていくのか。</p> <p>これまで一般会計の健全化に重点を置いてきたという反省点と、健全化判断比率の公表が義務化されたことなどから、次のプランでは特別会計においても、健全運営を行うためにそれぞれの会計で目標を掲げている。今後は健全化判断比率のうち将来負担比率が上がらないようにすれば、危険な状況になることはない。</p>
委員	<p>危険な状況にならないとのことだが、サービスの良否はともかく、これまで多くの市民サービスを削減してきて、財政状況が健全化された。削減していた職員の給与も元に戻した、財政指標も大丈夫といってもそれでいいというものではないと思う。ケーブルテレビの赤字経営や低加入率、下水道が市街地の接続率が低いことなど問題は多くあると思う。</p>
事務局	<p>不況による税収などの減少等の問題もあるため、決して盤石とは考えていない。ただ、これまでは削減しすぎてきたということがあったため、今回のプランで削減ということから脱却したいと考えている。</p>
委員	<p>最小限やらないといけないものは、数値目標を載せるべきではないか。</p>
事務局	<p>財政改革については、人件費を中心に約8億円を見込んでいると説明した。</p>
委員	<p>人件費は自然減であり、私は市が努力したとは考えていない。</p>
事務局	<p>職員数は適正化する必要があるというふうに考えている。</p>
委員	<p>事務事業の見直しとまちづくり計画の実施計画の項目は、分けた方が</p>

委員	<p>いいと思う。</p> <p>これは行財政改革プランだが、これからつくる総合計画の実施計画とも最終的にどこかでつながるものではないかと思う。そういう意味では、部長マニフェストの公表と施策に対応する体制の構築には注目している。</p>
事務局	<p>このプランの作成過程においても、サービス向上や意識改革は当たり前であって、そのことを掲載したプランをつくる必要性に疑問を感じたこともあったが、掲載したことがなされていないのであれば、必要であるとも考えている。</p>
委員	<p>後日、次回の進め方について事務局と協議させていただく。</p>